

教育の駅 いながわ

兵庫県川辺郡猪名川町教育委員会 発行

〒666-0292 猪名川町上野字北畑11-1 電話：766-6000 FAX：766-8904 Eメール：kyoikushinko@town.inagawa.lg.jp

「学校を核とした地域づくり」 ～地域学校協働活動について知っていますか？～

地域学校協働活動とは

高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等、幅広く地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校がお互いにパートナーとして連携・協働して行う様々な活動のことです。

今までの地域の学校支援の取り組みとの違いは、地域による学校への「支援」から、地域と学校がパートナーとして、お互いが「連携・協働」へと発展させていくことを目指していることです。地域が学校・子どもたちを応援・支援するという一方の関係ではなく、地域の方々も生きがいややりがいを見いだせるボランティア活動を通じて、地域の将来を担う人材の育成を図ります。子どもの成長を軸として、地域と学校がパートナーとして連携・協働し、地域住民のつながりを深めることにより、「学校を核とした地域づくり」を推進し、地域の創生につなげていくことが期待されています。

学校支援ボランティアの活動紹介

猪名川町立の幼稚園、小学校、中学校の中で、たくさんのボランティアが子どもたちの学校園での生活をサポートしてくださっています。今年度は、現在681名（平成30年7月現在）の登録があり、活動内容としては、子どもたちの登校時の見守りや、学校・園の掃除、花壇や畑の世話、



よもぎ団子づくり

よもぎ摘みから団子づくりまで、昔ながらの方法を、地域の方に教えていただきました。



茶道体験

お茶をたてたり、和菓子をいただいたり、なかなかできない茶道を体験し、心落ち着く時間を過ごしました。

絵本の読み聞かせや図書室整備、人形劇、写真撮影、校外学習の引率、学習の補助、理科室の整備や実験の準備など、多岐に渡っています。

ボランティアにとっても、子どもたちと言葉を交わすときがホッしたり、やりがいを感じたりするひとときになっており、「子どもの笑顔がうれしい」「いつも子どもたちから元気をもらっている」との声が寄せられています。

興味のある方は、ぜひお問い合わせ、ご登録ください。



学校支援ボランティアの登録について

〔任期〕平成30年4月1日から2年間

※個人・団体問わず、いつでも登録していただけます。

【登録方法】

「登録書」に必要事項を記入の上、下記まで郵便・FAX、または窓口へ提出。

※「登録書」は町役場、日生連絡所、六瀬総合センター、中央公民館、文化体育館、町立幼稚園、小・中学校に置いてあります。なお、町ホームページからもダウンロードできます。

町ホームページQRコード→



【登録・問合せ先】

猪名川町教育委員会学校教育課

〒666-0292 猪名川町上野字北畑11-1

T E L : 766-6006

F A X : 766-3034

E-mail : gakkoshien@town.inagawa.lg.jp



手作り紙芝居

戦争体験をもとに紙芝居を作り、平和集会で子どもたちに読み聞かせていただきました。



託児ボランティア

幼稚園行事など、未就園児のお子さんを別室で預かり、保護者の方が行事に参加しやすいようお手伝いいただいています。



畑の苗植え

夏野菜の苗を植えていただきました。収穫後は、ボランティアの方々と一緒に夏野菜カレーをいただきました。



登下校の見守り

毎朝、各小学校の地域の方々が、横断歩道に立って安全に誘導したり、一緒に歩いて登校してくださっています。



絵本の読み聞かせ

いくつかのグループの方が活動いただいています。絵本の読み聞かせや図書室の本の整理や本の修理もしてくださっています。

教育委員 コラム

安全について

教育長職務代理人 福西 堅固

本年の6月、大阪府北部を中心として震度6弱の地震が発生しました。それにより4人の尊い命が失われました。中でも通学途中の児童が向かっていった学校の施設によって命を奪われてしまったことは、我々教育関係者にとって大きなショックでした。それは避難所にも指定されている安全であるはずの学校が危険な場所となってしまったのですから・・・。過去の震災をきっかけに進めてきていた耐震化工事に大きな見落としがあったといわれても仕方がない出来事で残念でなりません。その後、国からの指示を基に、猪名川町でも直ちに学校・園内の点検を行い、危険と思われる箇所を撤去致しました。



また、PTAや地域の方に情報提供をいただき、通学路における危険箇所の点検も行っています。もちろん、危険は設備や建物の問題だけではなく、交通車両や自然災害等も考えられます。しかし、子どもたちの危険が少しでも軽減され、安全に楽しく学校・園で過ごせるよう我々大人は、視野を広く持ち、更なる知恵を絞っていかなくてはならないと思います。

大会結果

〈阪神大会〉

平成30年度阪神中学校総合体育大会の結果 ※県大会への出場権を獲得した団体および個人					
陸上競技	【女子個人】 共通女子走幅跳	第7位	来須 恵莉彩		(猪名川中)
ソフトテニス	【男子個人】	ベスト8	飯田 昂平	高橋 真登	(六瀬中)
	【女子個人】	ベスト16	小柳 陽菜乃	吉田 遥希	(猪名川中)
			鈴木 友佳	井上 蘭	(六瀬中)
剣道	【男子個人】	第3位	岡田 健志		(猪名川中)
	【男子団体】	優勝			(猪名川中)
水泳	【男子個人】 200M個人メドレー	第7位	和田 晃太郎		(猪名川中)
バドミントン	【男子個人】	第3位	三宅 晴己		(猪名川中)

〈県大会〉

平成30年度兵庫県中学校総合体育大会の結果					
ソフトテニス	【男子個人】	ベスト16	飯田 昂平	高橋 真登	(六瀬中)



【大島小】平和集会

7月12日(木)平和集会を行いました。6年生が広島へ修学旅行に行き、平和についてたくさん学んだことを、全校児童に伝えました。「どうすればみんなに伝わるか」を子どもたち自身が考えて取り組みました。



【松尾台小】平和への思いを折り鶴にたくして

6年生が修学旅行での平和のセレモニーのための折り鶴を、全校生で折りました。6年生が1〜5年生の教室へ行き、折り方を優しく教えていねいに教えました。



【白金小】笑顔輝く、全校大縄跳び記録会

昨年度から学期に1回、学級別大縄跳び記録会を行っています。各学級で練習を重ねて迎えた当日は、「ハイッ!」「ハイッ!」というテンポのいい元気なかけ声が響き渡りました。1年生も6年生と手をつないで、笑顔で楽しく駆け抜きました。



【つつじが丘小】平和の願いを込めて

6年生が広島へ修学旅行に行き、学んだことを全校生の前で報告しました。平和の願いを込めて考えたメッセージを歌に乗せて発表してくれました。6年生の思いに全校生も「おりづる」の歌で応えました。



【猪名川小】芸術鑑賞会

5月、芸術鑑賞会が行われました。今年、ウインドカンパニー金管合奏団の方々に来ていただきました。トランペットやトロンボーン、ホルンなどの金管楽器で奏でる音色は、とても素敵でした。



【楊津小】メダカのコタローがやってきた!

5月9日(水)、楊津小学校に、2回目の「メダカのコタロー」がやってきました。サンテレビで放映中のアニメ(実写版もあり)です。全校生がマントとマスクを着着し、ひょうごのため池を守るため、猪名川町の環境を守るため、ため池マンにへんしん! コタローたちと力を合わせて、ガニオンをやっつけました。やないづの郷を大切にします!





【猪名川幼】せいふう若葉との交流

せいふう若葉で、年長児が交流をしました。「幸せなら手をたたこうよ」や「げんこつやまのたぬきさん」の歌や年遊びを一緒に楽しんだり、ペンダントのプレゼントを渡したり、おいちゃんおばあちゃんにも喜んでいただきました。



【中谷中】我が校の伝統

中谷中学校は「挨拶と掃除」が伝統であると生徒が誇りを持っています。70年以上に渡る先輩たちがつなげてきた伝統のバトン。生徒たちはこれからも努力を重ね、素晴らしい先輩になってくれると思います。



【松尾台幼】収穫しよう

子どもたちが水をやり草を抜いたりしながら毎日大きくなるのを待ちに、じゃがいもの世話を続けてきました。そして、いよいよ収穫の日。笑顔と歓声があふれました。もちろん、みんなで食べました！



【六瀬中】ドリームマップ授業

7月17日（火）に全校生徒を対象に将来の夢や志を紙に描いて発表するドリームマップ授業を実施しました。本校の教育目標は、「主体的に夢を描く力の育成」ですが、自己を振り返り、自己の夢を見つけるきっかけになったのではないのでしょうか。



【六瀬幼】親子親睦会！飯ごう炊さん！

尼崎市立青少年いこいの家で親子親睦会。助っ人パパが火おこしをして、子どもたちや、トライやるウィークの中学生、ママさんチームでカレー作りをしました。みんなで力を合わせて作ったカレーは最高。山道探検やゲームなど大きな笑い声が山に響いていました！



【猪名川中】猪名川流を發揮した体育大会

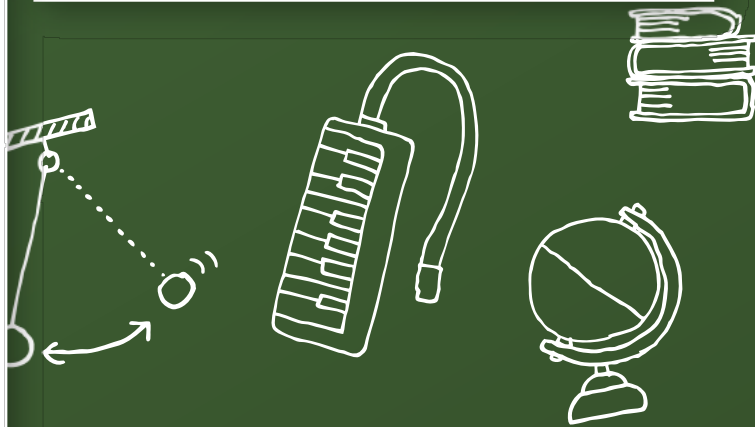
今年の体育大会のスローガンは「挑戦～Sky Is The Limit～」でした。無限大の可能性を信じ、847名の生徒がカー杯の演技や競技を披露しました。保護者の皆様、地域の皆様、ご声援ありがとうございました。



【つつじが丘幼】いちごの収穫

土づくり始まり、収穫時期の見極めまでを地域の杉本さんにお世話になりながら、様々な野菜を収穫して食べる機会をつくっています。

今年度最初の収穫は、豊作のいちごでした。全園児が、何度もいちごを摘み取って、たっぷりいただきました。



遠い国の笑顔

ながせ
長瀬

いつきさん（中谷中学校 二年の時の作品）

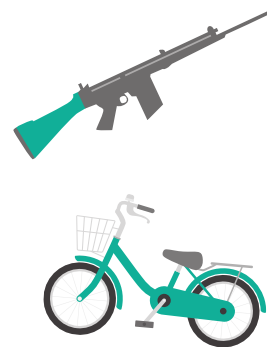
七月四日の新聞に笑顔で自転車に乗っている少年の写真が載っていた。とても楽しそうに見えたが、この少年はイスラム国の戦闘に巻きこまれ、両親を失った孤児だそうだった。

六月二十九日、モスルが陥落した。モスルは過激派組織「イスラム国」が三年にわたって拠点としていた都市である。そこでは、「ジハード（聖戦教育）」が行われていたそうだった。それは、子どもを赤ちゃんの時からイスラム戦士に育てる、テレビはイスラム教やイスラム戦士への愛を示したものに限り、おもちゃの銃で射撃訓練を行う、軍事の本やイスラム戦士の写真を見せて、こういう人になりたいと思わせる、などの教育マニュアルがあったそうだった。洗脳しやすい子どもを強引に連行し、死を恐れない戦闘員を育成することが目的だという。子どもを親の元から連行し、戦士になりたいと思うように教育することはおかしいと思う。そのような子どもたちが大人になると、自分のしている行動は正しいと考えて、同じ

ことが繰り返されてしまうのだと思う。

日本は今、平和で銃声も聞こえないし、遺体を見ることもない。当たり前のように学校へ行って、勉強して、部活をして、家へ帰ればご飯ができていて、家族と同じ家に住み、安心して眠ることができる。そんな毎日を過ごしているが、遠い国では私達の当たり前が、当たり前ではない生活を送っている人々がいるということ、ついにこの間まで知らなかったのだ、とても驚いた。もし自分がそのような生活を送ることになったら、何が正しいのか分からなくなってしまうと思う。そうすると、間違ったことをしても、それが正しいと思ひ込んでしまふので怖いと思った。

自転車の少年ユセフ・ヤセル君は、今は支援施設にいる。そこには教室代わりの大きなテントがあり、ブランコやトランポリンなどの遊具もあり、明るい雰囲気だそうだった。保護された直後、ヤセル君は人を怖がっていて、いまだに自分の境遇を詳しく話すことができないという。どれだけおそろしいものを見てきたのだらうと思った。



イスラム国の地域では子どもを含めた市民が何万人も「人間の盾」にされているという。「人間の盾」とは、民間人がいることを敵に知らせることにより、攻撃を思いとどまらせることである。イスラム国の戦闘員が民間人の家に入り込み、女性や子どもを抱えながら攻撃するそうです。

モスルは陥落したが、まだイスラム国が完全に無くなったわけではなく、今もイスラム国の戦闘員が多く残っていて、安全ではないため、破壊された街を建て直すのは、まだまだ時間がかかるようだ。孤児の支援施設も数が足りず、教室の机やベッドなど、不足している物資がたくさんあるそうだった。

遠くはなれた日本にいる中学生の私にできることは何なのか分からなかったが、まず新聞やニュース、インターネットなどで世界で何が起っているのか、どのような状況なのかを知ることが大切だと思った。

後期 人権教育セミナーのご案内

場所：中央公民館 視聴覚ホール
時間：午後7時～8時半

第1回 9月27日（木）

「子どもの貧困」 講師：NPO法人 山科醍醐こどもの広場 理事長 村井 琢哉 さん

第2回 10月11日（木）

「部落史」 講師：桃山学院大学 名誉教授 寺木 伸明 さん

第3回 10月25日（木）

「子どもの問題行動とその子を取りまく環境」（仮） 講師：京都工芸繊維大学 教授 藤川 洋子 さん

第4回 11月8日（木）

「知的障害疑似体験講座」 講師：猪名川町知的障害疑似体験啓発グループ いなキャラ さん



七夕給食

7月5日（木）、子どもたちが毎年楽しみにしている星形の食材を取り入れた「七夕給食」です。

星形ニンジン、オクラ、星形ハンバーグそして地元生産者による星形きゅうりが彩ります。

今年の七夕は雨が降り、星を見る事ができませんでしたが、給食で『星』をお届けしました。



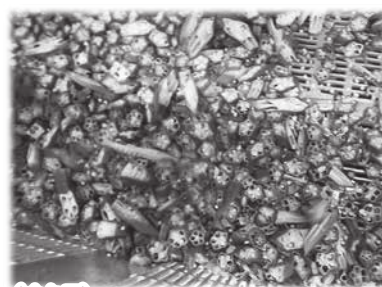
(星形きゅうり)



(星形ハンバーグ)



(星形ニンジン)



(オクラ)



平成30年度 運動会・体育大会日程

	校園名	日程
幼稚園	猪名川幼稚園 松尾台幼稚園 六瀬幼稚園 つつじが丘幼稚園	10月6日 (土)
小学校	猪名川小学校 楊津小学校 大島小学校 松尾台小学校 白金小学校 つつじが丘小学校	9月29日 (土)
中学校	中谷中学校 六瀬中学校	9月15日 (土)

※猪名川中学校は、6月に開催しました。

第18回猪名川町美術展 「町展」の作品募集

- ・応募資格 高校生以上
(町外在住の方も応募が可能です)
- ・応募規定 1部門につき1点(複数部門の応募も可能)、自作未発表の作品に限ります。
- ・出品料 1点につき、一般1,500円、高校生500円
- ・出品規格 絵画、立体工芸(彫刻・工芸)、書、写真
※部門ごとに賞あり
- ・作品受付 平成30年9月8日(土)午後2時～午後5時
平成30年9月9日(日)午前10時～正午
- ・受付場所 文化体育館(イナホール)
- ・募集要項 町内各施設に配置
- ・その他 電子申請による事前申込みも可能(9月7日(金)まで)。詳しくは町ホームページをご参照ください。
- ・問合せ先 猪名川町展実行委員会事務局(文化体育館内)
☎766-7400

作品展示期間

平成30年9月21日(金)～23日(祝)
午前10時～午後5時(最終日は午後3時まで)

図書館だより



【幼稚園向け】

『れいぞうこからとーって!』

竹与井かこ／作・絵（アリス館）



「おてつだいしたいこ いませんかー? れいぞうこからとってちょうだい」。う

さぎさんの冷蔵庫にはお野菜たっぷり、カラスさんは果物、ねこさんは魚、ほかに意外なものが入っていますよ。ねずみさんのはちっちゃくてかわいい冷蔵庫。ペガサス、魔女の冷蔵庫にはいったい何が入っているのかな? 最後にはみんなで楽しくピクニック。それぞれの冷蔵庫に入っているさまざまな食材たち、次は何を冷蔵庫から取り出す? いろんなパターンで楽しく読める絵本。親子で会話もはずみます。

【小学校低学年向け】

『マルラゲットとオオカミ』

マリー・コルモン／作
ゲルダ・ミューラー／絵
ふしみみさを／訳（徳間書店）

森でオオカミに食べられそうになったマルラゲット。ところがマルラゲットが逃げだした拍子に、逆にオオカミ



がけがをしてしまいます。けがをしたオオカミを放っておけないマルラゲットは、てきぱきと看病してあげます。はじめて

誰かから優しくしてもらったオオカミは、マルラゲットに好かれた一心で森の動物たちを食べることをやめるのですが…。マルラゲットとオオカミの友情物語として楽しめることはもちろん、同時に自然界のおきてについても知ることができる絵本。

【小学校中学年向け】

『どうくつをこねる糸川くん』

春間美幸／作 宮尾和孝／絵（講談社）



糸川くんは動物が大好き。糸川くんがこねるのは、動物を使ったヘリ

教科書を忘れてしまったときには、忍者の修行をしているウサギに持っているかててしまったから…。お母さんにそうじをしないといふ怒られた時には、ペンギンとぞうきんがレースをして疲れたから今日はもうできない…。ヘリくつに良いイメージはないけれど、糸川くんの『どうくつ』はみんながちょっと期待して心待ちにしています。明るく自由な糸川くんの発想に、思わずすすとしてしまう楽しいお話です。

【小学校高学年向け】

『狐霊の檻』

廣嶋玲子／作



マタジロウ／絵（小峰書店）

親を亡くした12歳の少女、千代は富豪である阿蒙家に下女として買われてきま

す。阿蒙一族の富と権力の裏には人言えない秘密がありました。それは屋敷の奥に幽閉した美しい守り神「あぐりこ」の存在。富を与えると同時に、邪気を放ち一族の体をむしばむあぐりこの力。阿蒙の命令で、あぐりこの話し相手を命じられた千代でしたが、いつしか二人の間には固いきずなが生まれ、共にあぐりこの生まれ故郷である美しい森へと逃げる決心をしますが…。

【中学生向け】

『スカートはかなきゃダメですか?』

ジャージで学校
名取寛人／作（理論社）



世界的に有名な男性だけのバレエ団で活躍した唯一の日本人である作者は、実

は元「女の子」でした。夏も冬も半ズボンで過ごし、ガキ大将だった小学生時代、制服のスカートが嫌でジャージで登校した中高生時代。自分の性に悩みながら、でも常に前向きに生きてきた半生を綴っています。ダンサーとなるためにアメリカに渡ったのが29歳のとき。性同一障がいへの理解を深める本としてだけでなく、いくつになっても夢をかなえることができるというメッセージも伝わり、勇気をもらえる一冊です。

すべて図書館にあります。お問い合わせは図書館（TEL：766-3238）まで。

※ここで紹介した本以外にもテーマ（カテゴリ）ごとのオススメ本などを、図書館ホームページ「テーマ別展示のコーナー」、ウェブ本棚「ブックログ」でも紹介しています。興味のある本探しにぜひご活用ください。
<https://www5.town.inagawa.hyogo.jp/booklog/>



【朝採りとうもろこし】

7月18日（水）、町立小・中学校で猪名川町内産のとうもろこしが給食に登場しました。

この地産地消の取り組みは、昭和60年から始まり、33年目となりました。

今年は大雨の影響で収穫量が少なくなりましたが、一人分の量を減らして実現しました。

町内生産者が当日の早朝からとうもろこしを収穫し、朝6時30分に給食センターへ届けられ、JA兵庫六甲猪名川営農支援センターの職員やNPO法人元気ファーマーの方達と一緒に、約1300本のとうもろこしの皮むきを行いました。

時間とともに糖分がでんぷん質に変化し、甘みが落ちていくため収穫後は手早く作業します。

給食センターは、子どもたちが地元に対する愛着を持ってもらえるようにできる限り地産地消に取り組むこととしています。

子どもの時に食べた料理の味は、大人になっても忘れません。

今後も郷土への愛着を育む給食をと考えています。



この広報誌は12,300部作成し一部あたりの単価は14.6円です。



再生紙を使用し環境にやさしい
植物油インキで印刷しています。

平成30年9月1日

猪名川町教育委員会報

教育の駅 いながわ

第90号（8）